

おうしゅう

お知らせ版

◎改正後の接種方法

ワクチン (対象年齢)	接種 回数	接種間隔	標準的な 接種年齢と間隔
三種混合 四種混合 不活性化ポリオ (生後3月～90月)	初回 3回	20日以上	年齢：生後3月～12月 間隔：20日～56日
	追加 1回	初回接種終了後 6月以上	間隔：初回接種終了後 12月～18月
日本脳炎 (生後6月～90月)	初回 2回	6日以上	年齢：3歳～4歳 間隔：6日～28日
	追加 1回	初回接種終了後 6月以上	年齢：4歳～5歳 間隔：初回接種終了後 おおむね1年
ヒブ (生後2月～60月) 標準的な開始時期 生後2月から 7月までの間	初回 3回	27日(医師が認めた 場合は20日)以上	年齢：生後2月～12月 間隔：27日(医師が認めた 場合は20日)～56日
	追加 1回	初回接種終了後 7月以上	間隔：初回接種終了後 7月～13月
小児肺炎球菌 (生後2月～60月) 標準的な開始時期 生後2月から 7月までの間	初回 3回	27日以上	年齢：生後2月～12月 間隔：27日以上
	追加 1回	初回接種終了後 60日以上、生後12月以降	年齢：生後12月～15月 間隔：初回接種終了後 60日以上

■問い合わせ先 水沢保健センター(☎034511)、各総合支所健康福祉課

接種を考えている人は、ワクチンの有効性とリスクを十分に理解した上で接種を受けてください。

■子宮頸がんワクチンの接種はリスクの理解を
現在、子宮頸がんワクチンについては、積極的な接種をお勧めしていません。
これは、接種後に持続的な痛みを訴えるという重篤な副作用が報告されたことから、平成25年6月に、厚生労働省が「副反応の発生頻度など適切な情報提供ができるまでは、積極的に接種を勧奨すべきでない」と勧告したことによる措置です。

予防接種に関する法律の改正に伴い、市の定期予防接種が変更されました。今回の改正で接種間隔が緩和され受けやすくなりましたが、できるだけ標準的な接種年齢と間隔で受けましょう。また、まだ接種が済んでいない人は、対象年齢のうちに予防接種を受けましょう。詳しくはお問い合わせください。

標準的なスケジュールで接種を

定期予防接種の接種間隔などが4月1日から変わりました